

2011 年度 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題)

(1)環境保全のための仕組み・体制設備

環境方針を策定し、環境保全部管理者及び推進体制を定め、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている(レベル 1)。今後は、環境に関する積極的な取組み項目を定め、管理責任者などの役割や責任権限の明確化をはかり、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝えて環境保全意識の向上を図るなど(レベル 2)の取組みの充実が必要である。

(2)

認証項目以外の取組みができていない。また、今後は燃費目標達成に向けた計画的な取組みが必要である。特に燃費実績が悪いドライバーの個別指導・実技講習の実施、優秀なドライバーへの表彰、グループ別活動を実施していく必要がある。

(3)低公害車の導入

最新規制適合ディーゼル車導入を計画的に実施し、代替時には燃費基準達成車、低排出ガス認定車を選択するようにしている。

(4)自動車の点検・整備

認証項目以外の取組みはほとんどできていない。認証項目を確実に実施した上で認証項目以外のレベル 2 に取り組みたい。

(5)廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に処理している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。

(6)管理部門(事務所)における環境保全の推進

管理部門従業員に対する環境教育は現場従業員とともに実施し、エコマーク製品の購入、廃棄物分別の徹底、不要証明の消灯などは実行している。
使用エネルギーや廃棄物の発生量が把握ができていない。

2. 目標

- (1)環境教育の推進
- (2)燃費向上：対前年比 2%向上
- (3)事務所での環境保全の推進：エネルギー使用量および廃棄物排出量の把握

3. 目標達成に向けた具体的な取組み内容

- (1)「環境教育の推進」に向けた具体的な取組み
 - 月次朝礼に環境に関する一般的な情報(環境問題の世界の現状など)や燃費実績等について、朝礼を利用して継続的に情報提供、教育を行う。
- (2)「燃費向上、対前年比 2%」に向けた具体的な取組み
 - ・月次実績の公表、個別指導の実施
目標達成率下位グループに個別指導を実施する。
 - ・グループ活動の実施
グループミーティングのテーマにエコドライブを盛り込み、グループごとにエコドライブリーダーを定め、目標、行動計画の策定、進捗状況を毎月おこなう。
 - ・アイドリングストップの徹底
待機時のアイドリングストップ徹底。但し、庫内温度を確認しながら実施する。
 - ・順次エコドライブ講習会への参加を図る。
目標未達成者より順次受講させていく。
- (3)「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的取組み
 - ゴミの分別を再徹底する。
 - 毎月の電気使用量実績を公表する。下期より上期実績を踏まえた削減量の目標をたて取り組む。

平成 23 年 3 月 1 日
株式会社 協和輸送
環境保全責任者
代表取締役 園田 譲